



真の自立支援をめざす小金井あんず苑

在宅介護を支援する しくみの充実を



藤村 忍(生活者ネット)
1999年から5年間、生活者ネットワークと関係団体と共に実施した「介護保険制度検証のための基礎調査」では、多くの利用者が「人生の最期を自宅で過ごしたい」と希望しながら、それが実現困難であるということが明らかになった。住み慣れた地域で

と介護の連携を進めることが必要であるが、市の取組は、**福祉保健部長** ケアプランの作成と管理については、介護サービス事業者連絡会のケアマネジャー部会、医師会、地域福祉委員会の連絡協議会を発足させ、徐々に連携を築いてきている。地域病院と訪問診療の連携については、医師会など医療関係機関の協力、連携のシステムの構築を検討していきたい。
その他、環境教育の市の取組について質問した。

「認知症」高齢者への 支援



野見山修吉(市民の党)
①「痴呆」という言葉の偏見をなくすために「認知症」という言葉になったが、取組は、①認知症高齢者の対応マニュアルの活用は、好評なので増刷しないか。②認知症予防のための訪問指導の現状認識と今後の課題は。
福祉保健部長 (ア)行政内部

での改正とともに福祉事業者にも周知徹底に努める。市報で市民にも周知を図りたい。
①市民向けパンフを配布した。②介護要望の中で訪問指導の役割は増加する。
介護福祉課長 (イ)改めて同じパンフを作る事は今のところ考えていない。③今後認知症の方への対応はまだ不足しているが、大きな計画の中で徐々に内容を高めたい。
②なぜ図書館の仕事を希望するのか、職員の動機を人事異動の自己申告書に書けるのか。①市民の要望や質問をつかむため館長も定期的にカウンターの立つべき。②図書館の模様替えをし、本を読めるスペースをつくるべき。
職員課長 (ア)書けない。
図書館長 (イ)不定期的だが、できるだけカウンターに立つ。③意見を参考に、図書館協議会に諮り努力したい。

「小金井100年の街づくり」とは何か



漢人明子(市民自治)
①市長選の市長の政治スロガンであった「小金井100年の街づくり」が市報や施政方針などにも使われている。
国連はじめ公的機関が示すデータによると、100年後、世界人口は1.5倍に増加、日本は半減、小金井市も6〜7割に減少。労働力人口も大幅

(イ)データに基づき新しい100年が始まると考え、武蔵小金井駅南口再開発事業を見直すべきではないか。
市長 (ア)職員に問うことではない。(イ)100年後に合わせて街づくりをしていくということではない。

に減る。地球温暖化により夏日は倍増。環境悪化を抑制するには化石燃料の使用限界は30〜40年との指摘もある。世界の人口バランス、食糧事情、エネルギー事情とともに大きく変わり、経済成長を前提とした時代は終わる。(ア)このスロガンについて市役所内で検討した経過があるか。
環境部長 環境保全実施計画に含むが独立が形式も未定。
環境政策課長 いつまでとは言えない。

アダプトプログラム (美化協定)の実現を!



西岡真一郎(改革連合)
アダプトプログラムは特定の公共の場所を養子に見立て、市民や企業団体・学校等が里親となり、公共の場所の美化を行い、行政がこれを支援する仕組みです。里親(市民)は清掃・植栽・花壇の手入れ・違法広告撤去等を行い、行政は用具提供、保険加入、物品

提供・ごみ回収等を行います。特徴は互いに協定を締結する事です。限られた財源の自治体で、市民が出来る事は市民で対応しようという発想です。全国で190件以上の事例を挙げ、参加人数は10万人を超え、散乱ごみ減少と奉仕精神の向上に大きな効果を挙げています。
(ア)プログラムの意義について。
ごみ対策課長 (ア)実施中の他市では、散乱ごみ減少、ポイ捨て防止啓発、美化意識向上、地域活性化の効果が報告されている。(イ)年間の活動報告は総計87件。
市長 (ウ)防犯防災、青少年健全育成にも有効なので、時期を考慮し、是非実現したい。



まちのオアシス 小長久保公園

新年度予算を否決すると 市民の幸せを奪う



伊藤隆文(自民党小金井)
(ア)住んで良かった街はハート面では駅周辺の街づくり。市長選の結果で判明。地方分権の受皿として行財政能力アップに合併が進んでいる。都市間競争に勝つために中央線高架に合わせ街づくりを進めるべき。(イ)南口再開発は国が事業認可し予算の可決が必要

東側の発展も今後の重要課題である。(ウ)東小金井駅北口は平成12年に事業計画決定している。展望は。
市長 (ア)街づくりで当市は26市中トップクラスになる。(イ)伊藤議員と同じ考え方。国や都から補助金を得て市民に還元しなければならぬ。
街づくり担当部長 (ウ)総事業費152億円で、112億円が国・都の補助金。事業決定後5年経過。審議会を設置したい。その他、ソフト面では行財政健全化等6項目を提起した。

野党議員が財政破綻と言つが根拠がない。総事業費303億円の中、国や都の補助金120億円で当市の起債は59億円。20年償還で街づくり完成の税増収2億6千万円を見込み、実質1億4千万円ずつ返済で年間予算の0.4%である。街づくりで市民生活が安心で便利快適になる。但し小金井街道



早期完成が望まれる武蔵小金井駅

発達障害者の 支援策について



和田茂雄(公明党)
①昨年12月成立した「発達障害者支援法」で当市の取組はどうなるか。現状は。
福祉保健部長 15年度は、1歳6か月検診で16人、3歳児検診で44人に障害の疑いが発見されている。これらの児童には個別診察、経過観察を行い、東京学芸大学、国立精

神・神経センター武蔵病院、教育相談所、市内の障害児訓練施設などの協力で訓練を実施している。支援法を受けて庁内や関係機関と連携して適切な支援に努める。
指導室長 次年度、東京都で特別支援教育コーディネーター育成研修があり、当市の教員も参加させ、夏以降、伝

達講習会を実施する予定。教員の資質向上を図っていく。
②ココバス運行に合わせて今後、コミュニティ道路整備を計画的に実施すべきだ。また、すでに運行中の北ルートの内、地蔵通りの直線部分で幅員が狭い箇所にあるバス停にゾーンの路面表示をして、待つ人々の安全を図るべきだ。
総務部長 地蔵通りの路面表示は、警察と十分協議して実施する方向で検討したい。その他、中学生の職場体験学習についてを質問した。